

# 血圧の薬は飲まないほうが良いって本当？

— 織田信長と最近の医療記事 —



## 1 織田信長

岐阜駅を降りて眼前に立っている織田信長が岐阜と命名して来年2017年で450年を迎えます。信長は愛知県生まれですが、長く岐阜を本拠地とし飛躍を遂げたことから、地元の人として親しまれています。

ただ好き嫌いが分かれる英雄ではありません。作家の藤沢周平も「信長きらい」というエッセイで比叡山焼き討ち等につき痛烈に批判しています。確かに多くの僧侶を殺害したのは事実ですが抵抗勢力を武装解除し、彼らが上納金を得ていた関所の撤廃や楽市楽座を進めるために必要

だったという考え方もあります。関所の撤廃に関して多くの人がその恩恵を得たわけですが、そのため信長は明智光秀に急襲され本能寺で討たれる事となります。

最近、とある雑誌で現在の医療を叩く記事がありました。信長と同様に物事には二面性がある事を忘れてはならないでしょう。

## 2 血圧/コレステロールの薬は飲まなくてもいいのでしょうか？

雑誌記事等で批判を受けていた高血圧や高脂血症の内服薬がありますが、これらの記事は本当なのでしょうか？ 例外はありますが、述べられている副作用

などは事実です。では掲載されている薬はすべて止めた方が良いのでしょうか？

そうではありません。薬の効果・有用性に目を向けると、例えばHYVET試験では、80歳以上の高齢者に対して降圧剤にて15mmHg血圧を下げることで、死亡を20%低下させました。WOSCOPS試験においては、高脂血症患者さんに薬剤投与することにより心筋梗塞を31%、死亡を22%低下させました。

## 3 高血圧・高脂血症の治療する意義

では内服治療に問題点は無いのでしょうか？ やはりそうで

はありません。何千人かに一人は大きな合併症を引き起こす事もあるでしょう。胃がむかむかしたり痒みが出たりという事なら数%もあるでしょう。

先ほどの数字にも実はトリックがあります。HYVET試験では脳卒中が30%下がったとありますが、2年間で1000人あたり17・7人が12・4人になったというのが同様の事実です。脳卒中を1人予防するには94人の治療が必要なのです。専門用語でNNTといいますが同様に死亡の回避には40人必要です。これも驚異的に効いていたというのが医学的評価です。

これは重症な病気が、起こる確率が低いためののです。ただし脳卒中を起こすと半身麻痺になり寝たきりになったり、心筋梗塞になれば突然死の可能性も高く慢性心不全になり少しの作業でも息切れを起こしたりするという、大きな障害の可能性が

あります。大まかにいえば100人に1人の致命的な病気を予防するのと100人に1人の軽い副作用と1000人に1人の大きな合併症とを天秤に掛けているので

## 4 健康に暮らさなれた

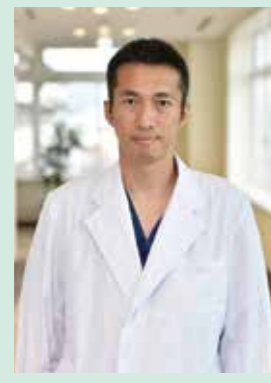
いろいろと数字を出したため、分かりにくい部分があったかと思えます。ただ医療は不確実なもの。どんな薬も検査も手術も利点と欠点、副作用、合併症があります。そのため前述のように色々調べて何が最善か我々医療従事者は日々悩んでいます。こういった二面性があるため一概に良い・悪いでは片づけられないのです。

ただし高血圧や高脂血症が重度の方を対象に偽薬(効果の無い対照薬・プラセボといいますが)を使った試験は最近行われていません。高血圧や高脂血症を放置して不利益な人体実験になってしまい倫理的に許されなからずです。

後は雑誌をみて薬を代えて欲しいという方が少なからず来られますが、雑誌は特定の名前を

出せばインパクトがあるために出しているの、効果・副作用につき同種薬で大きな違いは無い事が多いです。現在問題が起きていなければ変更する意義は少ないでしょう。勿論、食事療法や運動療法もお忘れなく。

### 今月の先生



岐阜市民病院 循環器内科  
**宮田周作 先生**

- 専門分野  
循環器内科、内科一般
- 役職  
循環器画像診断部長
- 主な資格、認定  
日本内科学会総合内科専門医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本心血管インターベンション学会専門医  
日本感染症学会ICD認定医

- 卒業年、主な職歴  
平成6年浜松医科大学医学部卒  
平成14年岐阜大学医学部附属病院  
平成20年中濃厚生病院  
平成24年木沢記念病院